

事務事業評価調書

1. 基本情報

事務事業名	十勝港湾施設改修事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-3-①-3
担当課	港湾課	担当係	管理係	担当者	安岡 伸弘			
事業の性質	☐ 法定受託事務 ☐ 義務的自治事務 ☒ 任意の自治事務				法定根拠			
実施方法(全てチェック)	☒ 町が直接実施 ☐ 委託又は指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他()							

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	3	港湾の特色を生かした利活用の推進
	施策	①	十勝港の利活用と整備の推進
	具体的な施策	1	港湾の整備
めざす目的成果	港湾施設の改修事業により、国際埠頭施設としての管理及び監視の充実、十勝港を利用する船舶の安全な航行及び係留、臨港道路十勝港線を利用する歩行者等の安全を確保し、十勝港の利活用促進を図る。		
事業内容	対象 (誰を、何を)	港湾関連企業	
	手段・手法	管理者事業(町)による港湾施設の改修整備	
	サービス内容		

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(予算)		30年度事業費の内訳
コスト	委託料						7,053	・十勝港線転落防止柵調査設計委託 7,053千円 ・防げん材改修工事2,949千円 ・十勝港内補修工事5,000千円
	工事請負費		184,541		69,893		7,949	
	事業費合計		184,541		69,893		15,002	
人件費	常勤職員(延)	160 人日	5,143	120 人日	3,741	100 人日	3,183	
	臨時職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0	
	人件費合計		5,143		3,741		3,183	
	総事業費		189,684		73,634		18,185	
財源内訳	国道支出金		131,520		23,300		3,332	・社会資本整備総合交付金3,332千円 ・町債(過疎債)6,600千円
	地方債		43,800		39,700		6,600	
	その他特定財源							
	一般財源		14,364		10,634		8,253	
	財源合計		189,684		73,634		18,185	

H29年度 実施内容	平成29年度は、港湾監視システム改修工事、防波堤改修工事、防げん材改修工事等を発注し、十勝港を利用する船舶や港湾関係者の安全確保等を図った。
---------------	--

活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H28実績	H29実績	H30(目標)	目標年度
			H28(目標)	H29(目標)		最終目標値
					—	H 年度
			()	()	()	()
					—	H 年度
			()	()	()	()
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H28実績	H29実績	H30(目標)	目標年度
			H28(目標)	H29(目標)		最終目標値
					—	H 年度
			()	()	()	()
					—	H 年度
			()	()	()	()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1次評価 (自己評価)	1. 妥当性の評価			
	20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		説明
		☒ 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) ☐ 法律で義務付けられている(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 課題もあり検討すべき(4) ☐ 必要性がない(0)		
	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		説明	
	☒ 現手法が最適である(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 一部改善すべき(4) ☐ 全面的に見直すべき(0)			
	2. 公平性の評価			
	16	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		説明
		☐ 全住民に対し公平である(10) ☒ 対象者に対し公平である(6) ☐ 見方により偏りがある(4) ☐ 実態として偏りがある(0)		
	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		説明	
	☐ 十分適切である(10) ☒ 受益者負担なし(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ やや不適切である(4) ☐ 受益者負担を検討すべき(2) ☐ 不適切である(0)			
3. 有効性の評価				
16	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		説明	
	☒ とても有効である(10) ☐ 有効である(6) ☐ やや有効性に欠ける(4) ☐ 有効性に疑問がある(0)			
② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		説明		
☐ 計画値以上である(10) ☒ 計画値通りである(6) ☐ 計画値以下である(4) ☐ 計画値達成が困難である(0)				
4. 効率性の評価				
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎではないか。		説明	
	☐ 比較的低コストである(10) ☒ 適正なコストである(6) ☐ ややコスト高である(4) ☐ 極めてコスト高である(0)			
② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		説明		
☒ 効率性が高い(10) ☐ 適正である(6) ☐ 改善の必要がある(4) ☐ 非効率である(0)				
5. 優先性の評価				
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		説明	
	☒ 必ず実施(10) ☐ できれば実施(6) ☐ 見直して実施(4) ☐ 事業見合わせ(2) ☐ 終了・廃止すべき(0)			
② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		説明		
☒ 影響は大きい(10) ☐ 影響はある(6) ☐ 影響は少ない(4) ☐ 影響はない(0)				

合計	88 /100	事業実施の課題・方向性	本事業を行うことにより、十勝港を利用する船舶や港湾関係者の安全を確保し、十勝港の利活用促進につなげていく必要がある。
----	------------	-------------	--

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間:H 年度~H 年度) ☐ 廃止・完了(時期:H 年度)
	投入資源の方向性	事業量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小 ☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
主管者会議評価	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間:H 年度~H 年度) ☐ 廃止・完了(時期:H 年度)
	投入資源の方向性	事業量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小 ☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
	総合コメント		

事務事業評価調書

1. 基本情報

事務事業名	ひき船委託事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-3-①-4
担当課	港湾課	担当係	管理係	担当者	安岡 伸弘			
事業の性質	○ 法定受託事務 ○ 義務的自治事務 ● 任意の自治事務				法定根拠			
実施方法(全てチェック)	☒ 町が直接実施 ☐ 委託又は指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他()							

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	3	港湾の特色を生かした利活用の推進
	施策	①	十勝港の利活用と整備の推進
	具体的な施策	1	港湾の整備
めざす目的成果	十勝港にひき船(タグボート)を在港させ、大型船舶の入出港支援を効率的かつ効果的に進めることにより、十勝港の優位性を高め利活用促進を図る。		
事業内容	対象 (誰を、何を)	港湾関連企業	
	手段・手法	港湾管理者(町)によるひき船在港委託業務	
	サービス内容		

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(予算)		30年度事業費の内訳	
コスト	事業費	委託料	150,120		150,120		150,228		・ひき船在港委託料150,228千円
		事業費合計	150,120		150,120		150,228		
人件費	常勤職員(延)	30 人日	965	30 人日	936	30 人日	955	30年度財源内訳の積算	
	臨時職員(延)	時間	0	時間	0	時間	0		
	人件費合計	965		936		955			
	総事業費	151,085		151,056		151,183			
財源内訳	国道支出金							・町債(過疎債)88,300千円	
	地方債	88,300		88,300		88,300			
	その他特定財源								
	一般財源	62,785		62,756		62,883			
	財源合計	151,085		151,056		151,183			
H29年度 実施内容		ひき船在港委託業務を発注し、十勝港を利用する大型船舶の入出港を支援する。							
活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H28実績 H28(目標)	H29実績 H29(目標)	H30(目標)	目標年度 最終目標値	
タグボートによる入出港支援を必要とした大型船舶数		大型船舶の入港隻数の増加により、十勝港の利活用増加とみることができる。		隻	43 (ー)	52 (ー)	ー (55)	H 32 年度 (60)	
							ー ()	H 年度 ()	
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H28実績 H28(目標)	H29実績 H29(目標)	H30(目標)	目標年度 最終目標値	
タグボート稼働回数		タグボートの稼働回数の増加により、より大型の船舶が入出港したことを示すため。		回	136 (ー)	179 (ー)	ー (185)	H 32 年度 (190)	
							ー ()	H 年度 ()	

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1. 妥当性の評価			
16	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。		説明
	☒ 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) ☐ 法律で義務付けられている(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ 課題もあり検討すべき(4) ☐ 必要性がない(0)		
	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。		
	☐ 現手法が最適である(10) ☒ 検討の余地がある(6) ☐ 一部改善すべき(4) ☐ 全面的に見直すべき(0)		
/20		説明 十勝港の利活用促進のためひき船の在港は不可欠のものであり、港湾管理者(町)として積極的に行うべきである。	
2. 公平性の評価			
20	① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。		説明
	☒ 全住民に対し公平である(10) ☐ 対象者に対し公平である(6) ☐ 見方により偏りがある(4) ☐ 実態として偏りがある(0)		
	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。		
	☒ 十分適切である(10) ☐ 受益者負担なし(10) ☐ 検討の余地がある(6) ☐ やや不適切である(4) ☐ 受益者負担を検討すべき(2) ☐ 不適切である(0)		
/20		説明 本事業の受益者は、港湾関係者全般であり、公平性を欠くところはない。	
3. 有効性の評価			
16	① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。		説明
	☒ とても有効である(10) ☐ 有効である(6) ☐ やや有効性に欠ける(4) ☐ 有効性に疑問がある(0)		
	② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。		
	☐ 計画値以上である(10) ☒ 計画値通りである(6) ☐ 計画値以下である(4) ☐ 計画値達成が困難である(0)		
/20		説明 十勝港の利活用促進策のため本事業を継続的に実施することは、極めて有効であると考えられる。	
4. 効率性の評価			
16	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかりすぎではないか。		説明
	☐ 比較的低コストである(10) ☒ 適正なコストである(6) ☐ ややコスト高である(4) ☐ 極めてコスト高である(0)		
	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。		
	☒ 効率性が高い(10) ☐ 適正である(6) ☐ 改善の必要がある(4) ☐ 非効率である(0)		
/20		説明 十勝港の利活用促進のため適正なコストであると言える。	
5. 優先性の評価			
20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。		説明
	☒ 必ず実施(10) ☐ できれば実施(6) ☐ 見直して実施(4) ☐ 事業見合わせ(2) ☐ 終了・廃止すべき(0)		
	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。		
	☒ 影響は大きい(10) ☐ 影響はある(6) ☐ 影響は少ない(4) ☐ 影響はない(0)		
/20		説明 大型船舶の入出港支援の体制が整っていることは、十勝港の優位性を示すものであり、戦略的かつ積極的に実施する必要がある。	

合計	88	事業実施の課題・方向性	本事業を行うことにより、大型船舶の入出港支援を効率的に行うことができ、十勝港の利活用に大きく寄与しているものと判断できる。今後は、大型船舶の更なる利用を目指し、関係各方面へのポートセールスに取り組んでいく必要がある。
/100			

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間:H 年度~H 年度) ☐ 廃止・完了(時期:H 年度)
	投入資源の方向性	事業量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小 ☐ 労働量 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
	今後の取組方針(改善点・変更点)		
	十勝港のさらなる利活用促進を図ることで、さらなるコスト減につながる。		
主管者会議評価	事業の方向性		☐ 拡大 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 休止(期間:H 年度~H 年度) ☐ 廃止・完了(時期:H 年度)
	投入資源の方向性	事業量	☐ 拡大 ☒ 現状のまま ☐ 縮小 ☐ 労働量 ☒ 現状のまま ☐ 縮小
	総合コメント		